



おしのっ子だより

学校教育目標 『心豊かで 自ら学ぶ たくましく活力のある子どもの育成』

* 2学期の教育活動にご協力、ありがとうございました！！

早いもので、令和元年度2学期の終業式を無事に迎えることが出来ました。学校教育活動において、ご理解ご協力いただきましてありがとうございました。

ふれあい遊び広場やおしのハローワークで指導して下さった地域の皆様や講師の方々、読み聞かせボランティアの皆様が、鴛野小学校の子どもたちのために、忙しい中時間をとっておいでいただき、ありがとうございました。

2学期の鴛野小学校の子どもたちを見てきて、驚くことも多くありました。まず、聞く姿勢が良いのは、大分市でも誇れるレベルだと思います。体育館からの出入りでの整然とした姿は、これまでの先生方の指導の積み重ねと思っています。また、音楽集会での工夫を凝らした発表や一人一人が声を出している歌声、生活のめあての反省の学年発表は、堂々としていてとても素晴らしいものでした。

これから、児童数が減少し、職員の数も減っていく鴛野小学校ですが、この素晴らしい伝統は受け継ぎ伝えていかなくてはならないと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

令和初めの年末となります。良いお年をお迎えください。



* 冬休みは、読書のチャンス！！読書冊数100冊突破が続出です。

先日、新聞の1面に、「**子どもの読書不足による長文の読解力が低下**」という記事がありました。中学校、高校、大学、社会人の世界でも、長文を理解し、要約する力は求められます。また、読解することで、思考力も高まり、「考える力」も付き、判断力へとつながります。その読解力が低下するということは、大変なことです。

幼い頃から本と親しみ、楽しいお話を読んでいると、次々とストーリーが気になって、読み進めますよね。文字を読むことに抵抗がなくなります。本の世界に入っていくと、想像力も付きます。

主人公の気持ちになって、読み進める子どもにとって、相手の立場に立って考えることは、いつもしていることなのです。思いやりのある子に育てたいと思えば、たくさんの本と出合わせることで、ぜひ、子どもたちは、冬休みに読む本を図書館で3冊選んで本を借りています。親子でどんな本を借りたのか、尋ねたり、一緒に読んでください。

『**読書の木**』の葉っぱ(1年～4年100冊、5年～6年80冊以上)は、今72名の子どもたちがゲットしています。

* 冬休みに向けて～「いい心」を持つ人になろう。～

長い2学期は、たくさん経験することがありました。鴛野小学校の子どもたちは、いつも見学に行くときに、ほめられます。これは、自信にしてください。あゆみにも、先生方が皆さんのいいところや頑張ったところを丁寧に書いてくださっていますよ。(中略)

いい心になるために、二つ方法を教えます。

一つは、「**信用される人になること**」です。信じられる人ってどんな人でしょう。1、約束を守る人、2、時間を守る人、3、笑顔で励ましてくれる人、4、悪口を言わない人、です。当てはまりますか？すべて100%できるのは無理でも、冬休み中、お風呂洗いを家の仕事にしている、10回中2回しかできていなかったら、信用されますか？やはり、信用してもらうためには、努力が必要です。

二つ目は、昨年も言いましたが、「**朝起きて『ありがとう』を100回言うこと**」です。言った後、あなたの脳は、100回ありがとうを探し始めます。朝天気がいい、ありがとう。朝ごはんがおいしい、ありがとう。感謝する気持ちが身につくと、自分も感謝される人になります。お互いに、感謝し合う仲になれると、いい心の持ち主になれるですね。

鴛野小学校のめあてに、「ありがとうを言える人になろう。ありがとうを言われる人になろう。」とあります。家族や友達や地域の方に感謝を伝えられるいい心を持つ人になってください。